<table>
<tr><td>業科目名</td><td>ことばと遊び</td><td>教員名</td><td>工藤　道子</td><td rowspan="6">卒業及び
免許・資格
との関係</td><td>卒業</td><td>選択</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>小学校教諭</td><td>選択</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>幼稚園教諭</td><td>選択</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>保育士</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>科目番号</td><td>HY0101</td><td rowspan="3">配当年次</td><td rowspan="3">１年前期</td><td>こども音楽療育士</td><td></td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td>演習</td><td>情報処理士</td><td></td></tr>
<tr><td>単 位 数</td><td>２単位</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>科　　目</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>施行規則に
定める科目区分</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>一般目標</td><td colspan="6">絵本や紙芝居など、子どもの遊びを豊かに展開するための言語表現にかかわる知識・技術の習得をするとともに、子どもの表現技術を支援する教材の活用や具体的な展開について理解する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="6">（１）　子どもの発達と児童文化財との関係および遊びとの関連を理解している。
１）子どもの発達に合った絵本を選び、読み聞かせの技術を身につけている。
２）昔話、民話、神話の絵本の特性を理解し、保育指導に活用することができる。
３）紙芝居の特徴や歴史を理解し、子どもの発達に合った紙芝居を選び演じることができる。
（２）　ストリーテリングの方法を理解し、具体的な保育を想定した展開案を作成すると共に技術を身につけている。
（３）　絵本から人形劇の台本を作成し、登場人物の個性がわかる表現技術を身に付けることができる。</td></tr>
<tr><td>ディプロマ・ポリシーとの関係</td><td colspan="6">本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「３．教育者として持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身に付けている。」「６．教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身に付けている。」を育成する科目として配置している。</td></tr>
<tr><td>授業の概要</td><td colspan="6">絵本や紙芝居など、子どもの遊びを豊かに展開するための言語表現にかかわる知識・技術を習得すると共に、子どもの表現活動を支援する教材の活用や具体的な展開について学ぶことを目的とする。本授業では、まず、子どもの発達と絵本・紙芝居等の児童文化財との関連及び遊びとの関連について学び、さらに、絵本の読聞かせ・人形劇やペープサート、ストリーテリングの方法・技術や保育指導の展開について学んでいく。授業形態は演習とする。</td></tr>
<tr><td>履修条件・注意事項</td><td colspan="6">特になし</td></tr>
<tr><td>授業計画</td><td colspan="6">第1回：オリエンテーション
授業目標と授業計画の概要、単位の認定について説明する。また、絵本とは何か、絵本の教育的意義について説明する。（目標（１）-１、２、３）
第２回：子どもの発達と絵本１
子どもの年齢に応じた絵本（０歳～３歳）について、赤ちゃん絵本はコミュニケーションの基礎を育むことを説明する。（目標（１）－１））
第３回:子どもの発達と絵本２
子どもの年齢（４歳～６歳）の発達の道筋に沿った絵本の選び方を説明する。また、絵本の種類について解説し、創作物語絵本の面白さについて説明する。（目標（１）－１）
第４回：子どもの発達と絵本３
昔話・民話・神話の絵本の特徴について説明する。イギリスの民話「三匹のこぶた」の残酷な結末の必要な訳について説明する。また、「おおかみと七ひきのこやぎ」の画面構成とハラハラドキドキの関係について解説する。（目標（１）－２）
第５回：子どもの発達と絵本４
さまざまな絵本（仕掛け絵本・写真絵本・文字なし絵本）について、その特徴を説明する。更に、絵本と子どもの認識について解説する。（目標（１）－１）
第６回：子どもの発達と絵本５
絵本を用いた保育指導の展開について、①絵本の導入、②絵本の展開、③絵本の発展の具体的な指導の在り方について説明する。また、子どもにとっての絵本の魅力とは何かについて説明する。（目標（１）－１）
第７回：子どもの発達と紙芝居
紙芝居の特徴や紙芝居の歴史について説明する。紙芝居を用いた保育指導の展開について解説</td></tr>
</table>

	し、紙芝居の選び方、演じ方について説明し実際に演じさせる。（目標（１）－３） 第８回：子どもの発達と人形劇１ 人形とは何か、人形遊びの人形の種類について説明する。世界各地の人形劇の特徴について説明し、人形劇を用いた保育指導の展開について解説する。折り紙で人形を作成し演じさせる。（目標（３）） 第９回：子どもの発達と人形劇２ ペープサートの歴史について解説し、ペープサートの特徴や種類について説明する。用意したペープサート（「こぶたきつねこ」「食べ物クイズ」「動物、かっぱ、おばけ」）を使って、お話を作り実践させる。（目標（３）） 第１０回：ストリーテリング１ ストリーテリングの特徴について解説し、良い語りの声の出し方や動きと表情について説明する。ストリーテリングを用いた保育指導の展開について解説し、「ねずみ経」を聞き、グループで分担し語る演習をさせる。（目標（２）） 第１１回：ストリーテリング２ ストリーテリングの実践をさせる。「はだかの王様」を題材に、①場面を設定する、②重要な場面を絵で描く，③一つひとつの場面のお話を作る、④語りを練習する、⑤実演し評価する（目標（２）） 第１２回：教材の作成と活用１ 絵本から人形劇を作る方法について説明する。５人から６人のグループを組み、図書館で台本となる絵本（ストーリーがあるもの、話の展開が分かりやすいもの、人形の種類を想定）を選定させる。（目標（３）） 第１３回：教材の作成と活用２ 絵本のストーリーをもとに、場面設定と台本作りをさせ役割を決定させる。セリフとナレーション、人形、背景などの製作の役割分担を決めさせる。（目標（３）） 第１４回：教材の作成と活用３ グループごとに練習・製作をさせる。人形等の製作を行わせ、グループで練習させる。（目標（３）） 第１５回：発表会 各グループによる人形劇の発表をさせる。発表会の表現技術（手作りの人形の工夫、台本を見ずにできる、登場人物の個性が分かる等）、台本（劇の始めと終わり、役割分担、時間配分等）の評価を行う。（目標（３）） 定期試験
授業外学修時間の確保について	（事前・事後学習として週４時間以上行うこと） ・毎回、授業の最後に次回の講義内容を伝えるので、事前に教材の活用について調べておくこと。 ・講義内容について確認し、シラバスの授業概要を参考に教材の作成や表現の技術の習得に努めること。
学生に対する評価	定期試験５０％・発表会の表現技術３０％・その保育の展開案２０％ なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」 瀬田貞二「絵本論―子どもの本評論集」福音館書店　１９８５年 中村柾子「絵本の本」福音館書店　２００９年　　色々な文化財・絵本（授業中に適宜紹介）
担当者からのメッセージ	特になし
オフィスアワー	授業の前後の時間（メール等でポイントをとること）
備考	特になし